

タイラギの生息状況について（55点調査結果）

平成25年11月14日

佐賀県有明水産振興センター

1. 目的

この調査は、毎年1回タイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

2. 調査年月日

平成25年10月11、15、21、28～30日の6日間。

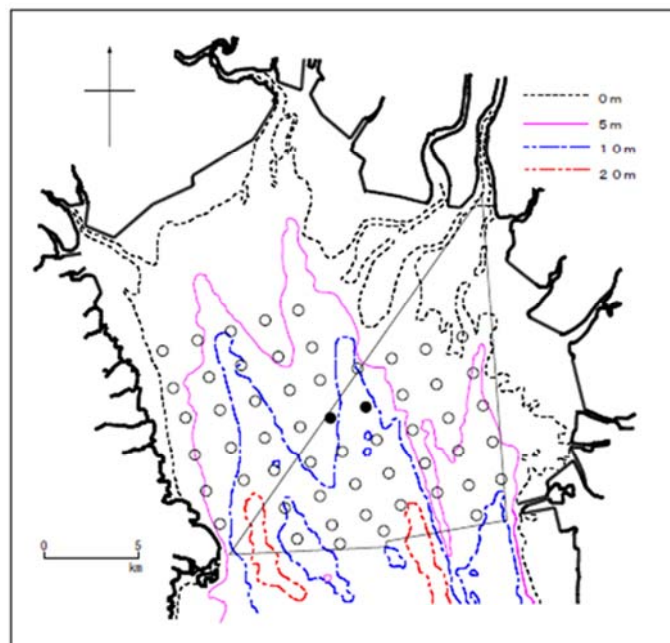
3. 調査方法

- ① 潜水器船で、1隻1日あたり5地点ずつ、合計55地点を調査した。
- ② 各調査地点において、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内にみられた生物を採取した。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰ったのち、殻長、重量等を測定した。

4. 調査結果

① タイラギ成貝の生息状況

- ・ 下の図に示したとおり、生息地点数は55地点中2地点で、いずれも1個体採取されたのみであった。
- ・ なお、昨年度の調査では、成貝の生息を確認できなかった。



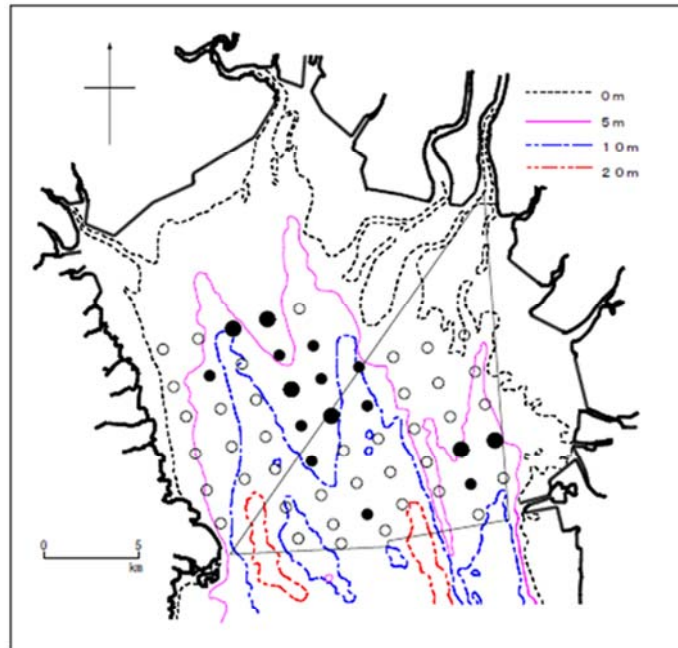
調査日：平成25年10月11、15、21、28～30日

● : ≥ 100 個体/100 m^2 ● : < 100 個体/100 m^2
● : < 50 個体/100 m^2 ● : < 10 個体/100 m^2
○ : =0

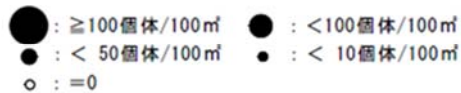
タイラギ成貝生息密度（25年度55点調査）

②タイラギ稚貝の生息状況

・ 下図に示したとおり、稚貝はダイナン（湾奥中央部）と大牟田沖を中心に、55地点中16地点で確認された。生息密度が比較的高かったのは、大牟田沖では2地点で、100 m²当たり29および15個、ダイナンでは4地点で、100 m²当たり10～19個であった。平均殻長については、79.0mm（48.2～122.7mm）と、昨年度（平均66.2mm）よりも13mm程度大きかった。



調査日：平成25年10月11, 15, 21, 28～30日



タイラギ稚貝生息密度（25年度55点調査）